

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立今治東中等教育学校

評 価 実 施 日

平成28年 3 月 7 日 (月)

委
員

役 職

備 考

学校評議員 5 名

学校関係者評価委員 3 名

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善方策等

1 広報活動・生徒募集について

- (1) 入学志願者は、今東に魅力があって来てくれることが望ましい。親の意識として、高校入試がないので入学させようと考えていることがあるのではないか。難関大学への進学実績などが魅力の一つになる。
- (2) 小学校長の立場から見ても、部活動や学校生活が楽しいということを知りたい。アンケートでも今東に入学して良かったという意見が多く、志願者が減ったことについて、特に思い付くことはない。

設立より3年が経過した「特別講座（学習意欲の高い生徒のグループづくり）」が少しずつ形になってきた。説明会でも紹介しており、彼らを中心に全体の学力向上を図っていきたい。

広報の方法をさらに工夫し、本校生徒・保護者の生の声を伝えられるようにしていきたい。

2 学習・学校生活について

- (1) 今東は、昔に比べ進路実績が上がってきているようだ。
- (2) 生徒会誌を読んでも、本当に生徒たちは学校生活に満足し、保護者も感謝しているのではないかと思う。人間として一番大切なものを、6年間で身に付けているようだ。
- (3) はっきりとした声で、きちんと自分の考えを言える生徒を育ててほしい。先生方の指導は間違っていないと思う。

最後まで粘らせる指導が功奏している。今後も継続していきたい。

今後も、一人一人に役割のある学校行事を実施するなど、充実した生活を送れるよう努めていきたい。

アクティブ・ラーニングの研究を進めるとともに、礼節をわきまえた言動がとれるよう教育していきたい。

3 主権者教育について

18歳から選挙権が与えられることに対する取組について教えてほしい。

6年生の生徒の中には、誕生日の違いで同じことをしても選挙違反に問われる者が生じる。生徒が悪意なく刑事罰を科せられることのないようしっかり取り組みたい。